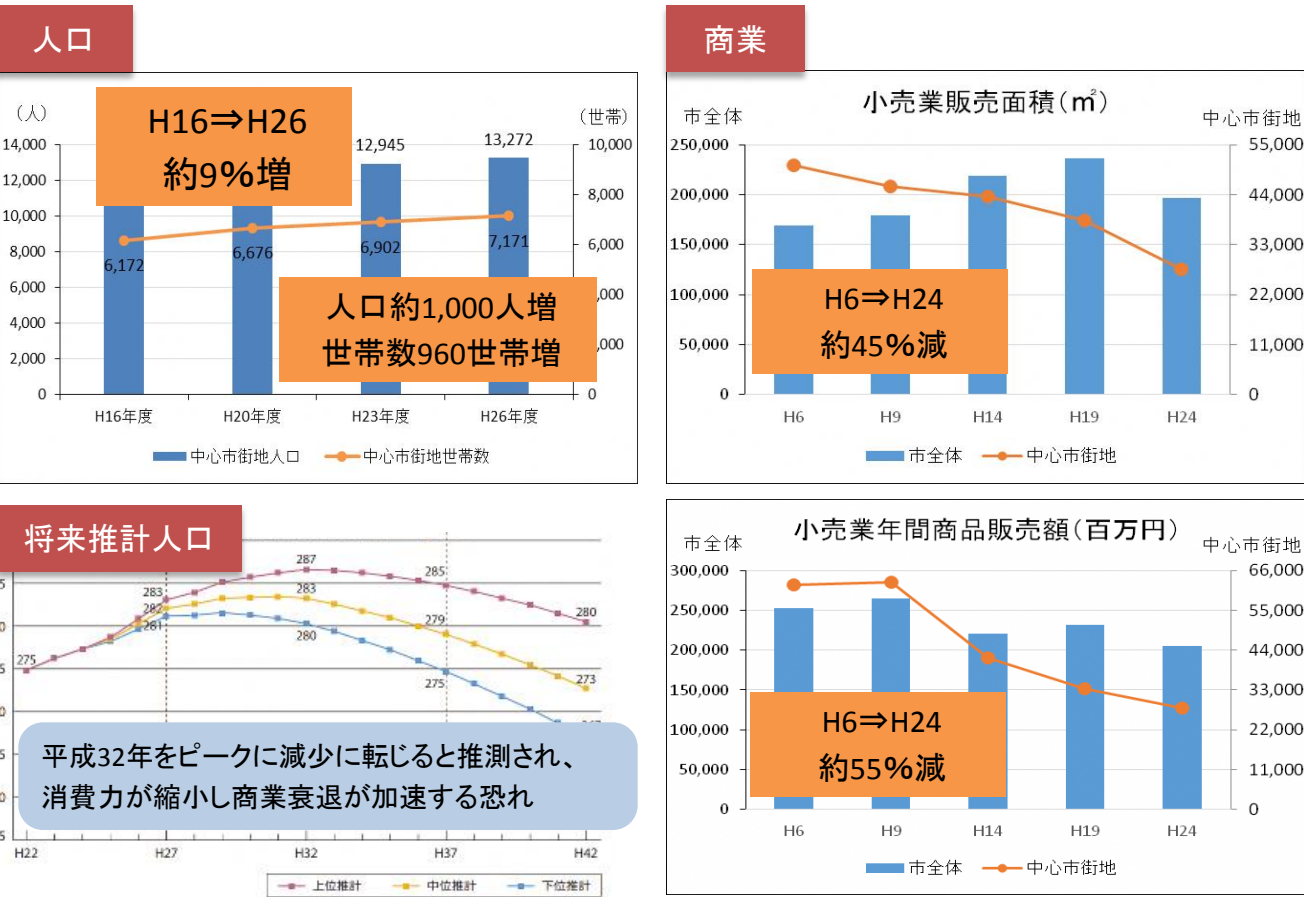


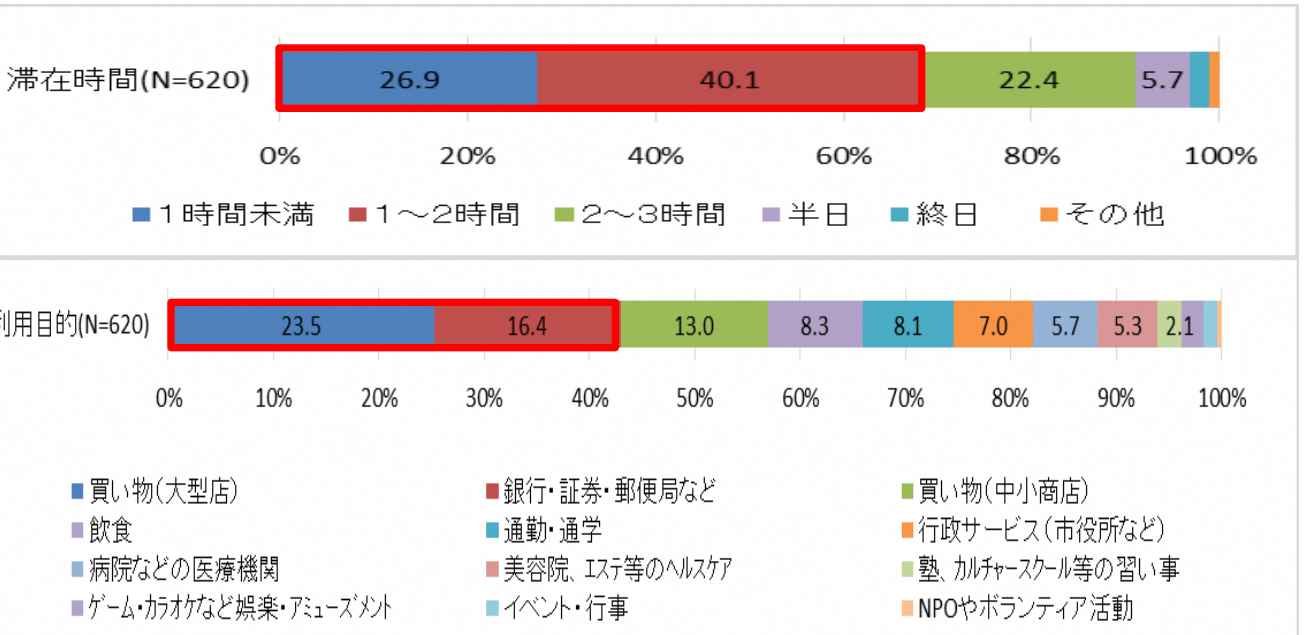
1. 中心市街地の現状分析

中心市街地の居住人口（H16: 12,187人 → H26: 13,272人）や、通勤・通学者人口は増加しているにもかかわらず、各種商業指標は衰退



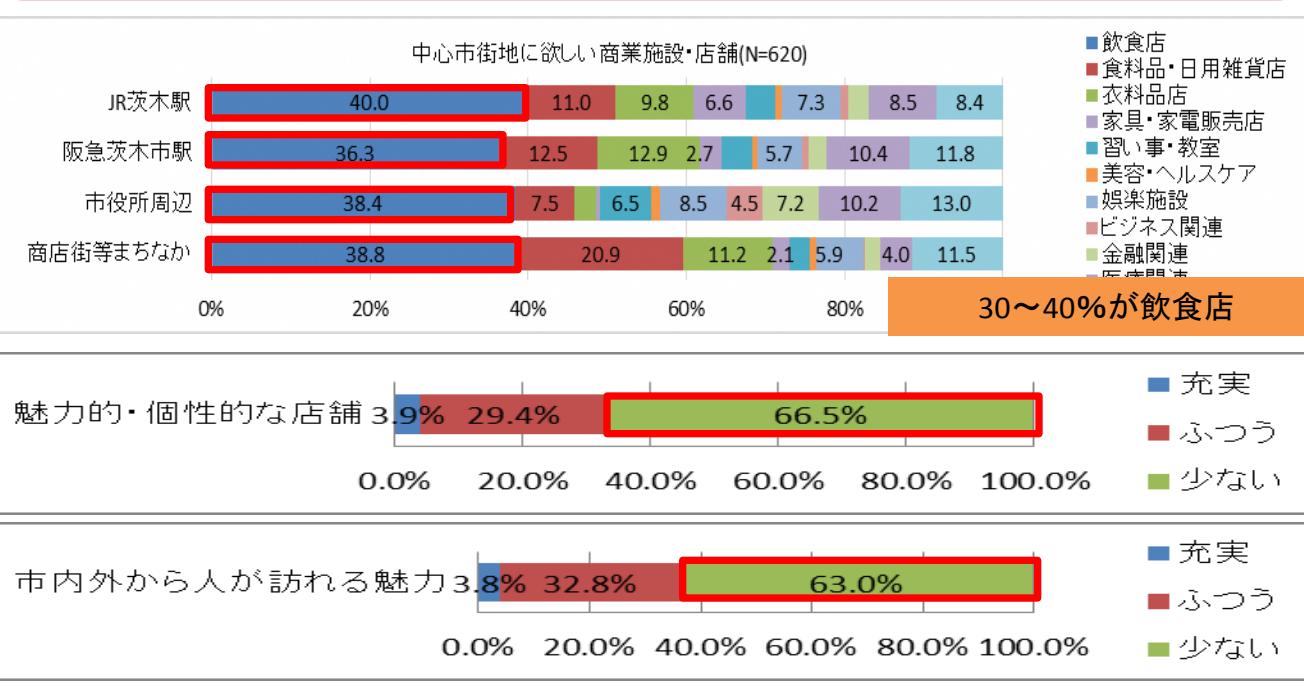
2. 中心市街地の利用状況

- 中心市街地の滞在時間は1～2時間と短時間、エリア内で滞在・回遊しない傾向
- 大型店での買物や銀行等の用事での利用が多い傾向



3. 中心市街地の課題

- 飲食店等を望む市民の多様なニーズに応えられていない
- 人口が増えているにもかかわらず、昼間の賑わいには十分につながっていない



「魅力ある商業機能、居心地の良い空間」が中心市街地に求められている。

① 多様なニーズに応える「質」の商業をいかに誘致するか

➡ テナント誘致事業

② エリア内の回遊性を高める仕掛けをどう創るか

➡ 公共空間活用事業

4. まちづくりの実施主体

- 公共 → 公平性・中立性の問題 → 担い手になれない
- 民間 → 短期的な収益性

➡ 市民の思い(市の将来像)を実現し、「住み続けたい」と思える、まちづくりに寄与する「民間会社」＝「まちづくり会社」